

# 金沢市広報基本戦略 骨子(案)

## 1 策定の趣旨等

現計画の計画期間5年の間には、SNS等の急速な普及や新型コロナウイルス感染症の拡大、それに伴う市民ニーズの複雑化・多様化が進み、市民の価値観や生活様式も大きく変容しており、こうした社会情勢に的確に対応した広報広聴活動を展開するため、今後5年間を見据えた次期金沢市広報基本戦略を策定する。

金沢市広報基本戦略においては、次の4つの基本戦略に基づき施策を進めていく。

### 4つの基本戦略

1. SNSを効果的に利用した情報発信力の強化
2. 多様化したメディアの応用と分かりやすく体系的な広報活動の実践
3. 職員の広報力向上のための取組みの強化
4. 幅広い市民の声を適切に市政に反映する広聴の実現

## 2 具体的な施策について

### 基本戦略1. SNSを効果的に利用した情報発信力の強化

#### ▶ 各SNSの特徴を活かした効果的な情報発信

- 【新規】 ● 画像を組み合わせた読みやすいメッセージの配信 (LINE)
- 市政広報番組や事業等を紹介する動画の配信 (Twitter)
- 届出・申請の動画マニュアルの配信 (YouTube)
- 【強化】 ● レイアウト改善による利便性の向上 (YouTube)
- かなざわのわフォトプロジェクトの運営 (Instagram)
- 【継続】 ● 各部局の選任メンバーによる市政情報配信 (Facebook)

#### ▶ SNS運営に係る統一的なルールを構築

- 【新規】 ● 市公式SNSの運用に関するルールを策定
- 各課(所)が運用するSNSへのルールの策定
  - ・新規アカウント開設時の届出制の導入
  - ・職員のSNSに関するガイドラインの更新等

## 2 具体的な施策について (つづき)

### 基本戦略2. 多様化したメディアの応用と分かりやすく体系的な広報活動の実践

- ▶ 効果的かつ体系的な広報活動をマネジメント
  - 【新規】 ● 複数の広報媒体を組み合わせたクロスメディアの実施
  - 【強化】 ● 広報番組と SNS 動画をホームページに集約し公開
- ▶ 多様な広報媒体を有効に活用
  - 【強化】 ● 庁舎前デジタルサイネージの効果的な運用
  - 【継続】 ● 新聞広報の制作
    - テレビ・ラジオの市政広報番組の制作
    - AI(人工知能)を搭載した自動応答システムの運用
    - 市長記者会見の実施や報道への資料提供
    - 障害者向け・外国人向け広報の実施
- ▶ 市公式ホームページをさらに使いやすく改善
  - 【新規】 ● 各課が運営する SNS アカウント情報を一覧化して公開
    - 申請窓口の順番待ち人数の表示
    - AI 自動応答システムのメニューの常時表示化
  - 【継続】 ● 写真やイラストを活用した分かりやすいページの作成

### 基本戦略3. 職員の広報力向上のための取組みの強化

- ▶ 広報活動に対する効果を検証
  - 【新規】 ● 市公式 SNS の効果分析の実施
  - 広報活動に関する庁内アンケートの実施
  - 【継続】 ● 各課(所)広報担当者による自己評価の実施
- ▶ 職員の広報広聴活動に対する理解を深める
  - 【継続】 ● 各課(所)広報担当者向け基本研修の実施
  - 他市町の広報担当職員との合同研修会の開催
  - 広報ディレクター等の活用促進

### 基本戦略4. 幅広い市民の声を適切に市政に反映する広聴の実現

- ▶ 市民意識の変化を定期的に把握
  - 【継続】 ● 意識調査の実施(市政 e モニターの活用)
- ▶ 市民が気軽に相談・意見できる場の提供
  - 【強化】 ● 市民から寄せられた質問などを集約しホームページに掲載
  - 【継続】 ● まちづくりミーティングの開催
  - 金沢かがやき発信講座の実施

## 3 基本戦略の見直し

市政を取り巻く状況や新しい情報通信技術など状況は常に変化しており、今後も定期的なアンケート実施などにより市民意識の把握に努めるとともに、社会情勢を踏まえ広報基本戦略を見直し、充実を図っていくこととする。